(4) 指導に生かす個別の支援記録の作成

個別の支援記録のねらい

子どもの状況と特徴に合わせた支援のために情報を収集し，整理して共有化し，客観的援助の方針を立て，今後の指導・援助に生かします。

記入上，活用上の留意点

- ・ 生育暦(家族状況など)
- ・ 学習面(学習状況・学力・出席状況など)
- ・ 心理・社会面(情緒・人間関係など)
- ・ 進路面(得意なことや趣味・将来の夢や希望・進路希望など)
- ・ 健康面(健康状況・身体の様子など)
- ・ 関係機関と連携状況

などを必要に応じて記載します。

個別の支援記録(例)参照

関係者で情報や対策，方針を共有することは大切ですが，秘密の保持，取り扱いや保管については十分に配慮する必要があります。

個別の支援記録 (例)

年 組 名前		記録者名
・ 支援に必要と思われる事項		
年月日	子ども・保護者の様子，現在の支援状況，今後の手立てなど	